

科目名	財務管理論 B Financial Management B						
科目担当者	本田 信雄 HONDA Nobuo						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]				ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)	
授業の概要	<p>本講義では、財務管理論の主領域である「企業財務論」、「投資理論」、「資本市場理論」に関する内容を取り扱う。具体的な内容としては、企業の財務意思決定、資本予算、資本コストと資本構成、モジリアーニ＝ミラー理論、配当政策、ポートフォリオ理論、資本資産評価モデル、および効率市場仮説等がある。</p> <p>財務管理論 B では、上記のうち、主に、資本予算、資本コストと資本構成、モジリアーニ＝ミラー理論、および配当政策に関する内容を取り扱う。</p>						
授業の到達目標	<p>①企業財務に関する諸理論およびその意義について理解する。          ②投資に関する諸理論およびその意義について理解する。          ③資本市場に関する諸理論およびその意義について理解する。</p>						
授業計画・内容	1	概説—企業の財務意思決定、資本予算、資本コスト、資本構成、配当政策等について					
	2	資本予算(1)—資本予算とは、その重要性・役割					
	3	資本予算(2)—投資決定の諸方法(回収期間法、正味現在価値法)					
	4	資本予算(3)—投資決定の諸方法(内部収益率法)、3方法の比較					
	5	企業の資本調達源泉と資本コスト(1)—資本調達の諸形態					
	6	企業の資本調達源泉と資本コスト(2)—資本コストの定義、個別資本コスト					
	7	企業の資本調達源泉と資本コスト(3)—加重平均資本コスト、問題演習					
	8	資本構成(1)—資本構成とは、最適資本構成とは、資本構成の諸理論					
	9	資本構成(2)—伝統的見解とモジリアーニ＝ミラー(MM)理論					
	10	資本構成(3)—市場の不完全性と MM 理論の修正					
	11	資本構成(4)—レバレッジと最適資本構成					
	12	配当政策(1)—配当政策とは、配当政策と株価					
	13	配当政策(2)—残余配当政策、配当政策に関する諸問題					
	14	配当政策(3)—日米企業の配当政策の比較とそれぞれの特徴					
	15	配当政策(4)—配当政策に関するまとめ					
授業外学修 (事前学修)	配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく (毎週 2 時間)						
授業外学修 (事後学修)	配布資料・講義内容ノートに目を通し、課題実施に備えておく(毎週 2 時間)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	後期末定期試験(またはレポート) 講義時の課題(レポートまたは小テストを計 6 回)				50% 50%	①②③ ①②③	
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合          優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合          良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合          可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合          不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	必要に応じて資料を配布する						
参考文献	なし						
その他	この「財務管理論 B」を履修する前に「財務管理論 A」を履修済みであることが望ましい。						